

学士課程教育の内容と
教育目標達成度を可視化した
学士課程教育構築システム
(Q-cum システム)

岡山大学が目指す学士課程教育

- (1) 学部段階の教育を「学士」を与えるに値するものに大学として構築し直す。
- (2) これまでの、何を教えるかという教師目線の教育を、何ができるようになったかという質的保証を目指した学生目線に変える（学生が主語）。
- (3) 岡山大学の学位授与の方針（ディプロマポリシー, DP）に合致した卒業生を社会に送り出す。

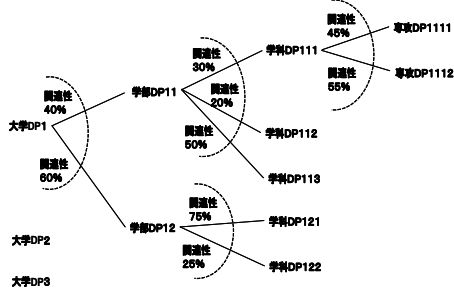


教育の内容と成果を可能な限り客観的な指標を用いて可視化する仕組みを構築する。

学士課程教育構築システム（Q-cum システム）

データ入力 (人手で作成)

DP(大学・学部・学科)



授業科目(シラバス)

岡山大学のDP	教養		専門性			情報力		行動力	自己実現力
〇〇学部(学科)のDP	教養-1	教養-2	専門性-1	専門性-2	専門性-3	情報力-1	情報力-2	行動力	自己実現力
〇〇学I	10		60			30			
〇〇学II		10		70				20	
.....			
.....	

履修成績(学生)

	評点	評語	GP
〇〇学I	91	A+	4
〇〇学II	70	B	2
△△学	68	C	1
××学	85	A	3

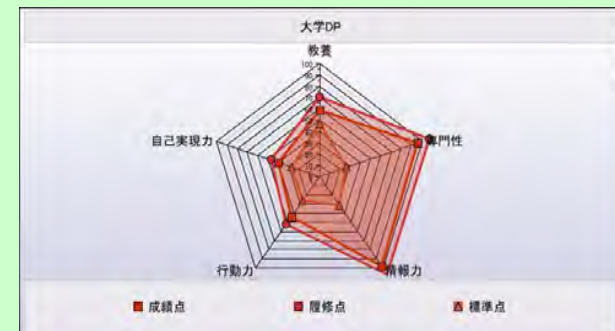
学士課程教育構築システム (Q-cum システム)

科目分布表 (教養・専門)

科目分布チャート (教養・専門) 科目バランスの確認



学士力評価チャート (学士力の確認)



学士力点数一覧					
	教養	専門性	情報力	行動力	自己実現力
2010/履修点	30	71	22	17	4
2010/標準点	24	64	25	20	5
2010/履修点	19	19	7	10	2
2010/標準点	34	74	22	28	11

学士課程教育構築システム(Q-cum システム)が稼働すれば、以下の事が可能になる。

(1) 大学・学部・学科は

- ・ **学位授与の方針**(ディプロマポリシー, DP)とカリキュラムとの**関連性を把握**できる。
- ・ **カリキュラムの見直しと体系化**が容易にできる。
- ・ **社会に対して学士力保証の客観的根拠を提示**できる。

(2) 教員は

- ・ **授業内容・方法を容易に改善**できるようになる。

(3) 学生は

- ・ **学士力評価チャート**(学士力達成状況をチャート図で示したもの)によって**学士力を視覚的に把握**できる。
- ・ **履修相談など学生と教員とのふれあいへの糸口**となる。